



八幡浜市みなと祭り

9月定例会等の概要

平成23年9月定例会は、9月6日に開会し、17日間の会期で9月22日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の予算案7件を含む19案件、議会から1案件（議会改革特別委員会の設置）が上程され、その内、認定3件については、閉会中の継続審査となり、その他については、原案のとおり可決されました。

6月定例会で設置された市立八幡浜総合病院建設特別委員会は、新病院の建設場所として北浜公園は不適との結論を出し、調査を終了しました。

また、7月22日臨時会が開催され、報告2件、契約案件2件、計4件が上程され、可決、承認されました。

8月17日の臨時会においては、報告2件、予算案1件、並びに任期満了に伴う常任委員会等委員の改選及び組合議会議員の選挙が行われました。

【9月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
6日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
12日(月)	本会議	一般質問（5名）
13日(火)	本会議	一般質問（3名）
15日(木)	本会議	議案に対する質疑
16日(金)	委員会	総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
22日(木)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は12月に開催の予定です。

一般質問

今定例会では、8人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたどりました。その主な質問、答弁の要旨を掲載いたします。

学校の統廃合

問 八幡浜市学校再編整備検討委員会の答申と地元の同意について、どちらが優先されるのか。決定までの手順はどのようになるのか。

答 来年3月末を目安に答申書をとめていただく予定であるが、その答申を基調にして、市教委でできるだけ早期に八幡浜市学校再編整備実施計画案を作成したいと考えている。その実施計画案を市議会に報告するとともに、地域説明会やパブリックコメントを実施し、広く市民に公開し、御意見をいただくこととしている。

市教委では、それらの意見を踏まえて、さらに審議を行い、最終的な実施計画を策定する予定である。

問 統廃合となった学校施設の再利用の計画について、八幡浜市学校再編整備検討

委員会から何らかの答申がなされるのか、伺いたい。

答 現在、学校視察を含む4回の委員会が開催され、委員の皆様には子供たちにとって望ましい教育環境等について、全市的な観点から活発な議論を重ねていただいている。廃止となる学校の建物や土地の利用については、検討委員会においては取り組めばよいのかといった考え方、理念を提示していただくものであり、個々の学校の具体的な検討は、全市的なまちづくりの視点で、地域の皆さんの意見や要望を聞きながら教育委員会で行う必要があると考えている。

学校教育と防災・避難訓練

問 昨年度の小・中学校の消防・防災訓練の実施状況について、伺いたい。

答 消防・防災訓練については、年度当初に設定し、市

教育委員会に提出をする各校の消防・防災計画に従って、昨年度は、年2回から3回程度実施している。

そのうち火災に関する訓練が、全小・中学校23校で総計24回、地震に関する訓練は8校で8回、地震と火災をセットにした訓練が8校で計9回、地震と津波をセットにした訓練が2校で2回、原子力防災に関する訓練は、1校で実施している。

問 市内全部の小・中学校が合同で、地域の人たちも巻き込んで、学校教育の1コマを割り、教育委員会主導で、定期的に実施してはどうか。

答 9月4日に実施された市の自主防災訓練において、全小・中学校の行事や部活動は中止して、各地域の自主防災訓練に参加するようにした。あわせて、児童・生徒に保護者とともに参加するよう奨励をした。

学校においては、各学期に1回はそれぞれの目的に応じた避難訓練を計画し、実施している。今後も継続していきたい。いずれにしても、命を守るこ



とを第一に考え、どれだけ危機意識を持って、また冷静で沈着な判断や行動ができるかは、このような避難訓練等を継続することによってかわってくると考える。繰り返し行い、定着を図っていきたい。

議員指摘のただけ保護者や地域の方を巻き込んだ訓練ができるかどうかについては、各校の実態や取り組みを踏まえながら検討していきたい。

公民館の管理・運営

問 なぜ大規模館8館の主事は嘱託契約で、残りの館の主事は委託契約であるのか。

答 大規模館を設置している8地区は人口3000人以上の地区であり、公民館の利用頻度も高いと想定されることから、ある程度開館していただくことにより利用者の利便性を図るため、嘱託主事として1日8時間、週40時間の勤務をお願いしているところである。

委託主事については、非常勤で勤務時間等の定めはなく、館の利用状況及び行事に応じて勤務していただくこととなっている。その運用については、各地区公民館に一任している状況である。

市の考え方としては、今のこ

ろ、この雇用形態のままで運用したいと考えており、開館をしなからお互いに休日をとっていただくなど、地区館の中での運用で対処いただくことにならと思う。

なお、今現在、調査もしているが、十分事情を把握し、必要と認められる場合には制度の改正についても検討していきたいと考えている。

問 市内の公民館すべて、基本事項は統一された上で、個々の事情に合うよう管理運営されるべきだと思いが、いかがか。

答 市としては、委託契約の中で委託学級を取り込んだ公民館活動をしていただくことをお願いしているが、それ以外の行事運営については、画一的な公民館事業運営として押しつけるのではなく、各地区館に一任しており、地域の特性や住民ニーズに合った公民館活動を展開していただいている。

今後も、地域の自立性の観点から、法律など必要な大きな枠の中での自主的な運営が大切と考えている。

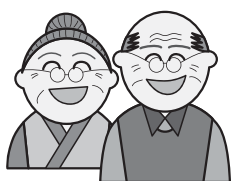
文化財の指定

問 新たな文化財指定や指定解除の調査研究について

一般質問者と質問事項

質問者	質問事項
樋田 都	1 八幡浜港振興ビジョンについて 2 保育所のあり方について
住 和信	1 地域活性化対策について 2 農林水産業振興について 3 文化振興について
新宮康史	1 東日本大震災を受けて、八幡浜市防災対策の抜本的見直しを 2 児童生徒の避難訓練を、地域も巻き込み学校教育の中で 3 公民館の管理、運営の在り方について
二宮雅男	1 災害対策と原発事故後の対応について 2 子育て支援のあり方 3 鳥獣被害防止対策について
大山政司	1 東日本大震災と原発事故に対する教育行政について 2 日土小学校、再生計画について 3 小・中学校、保育所の統廃合（再編）について
遠藤素子	1 原発ゼロへ・自然エネルギーへの転換で街おこしを 2 港湾振興ビジョンの進捗状況と今後の見通しについて 3 高齢者福祉と介護保険制度の拡充を求めて
清水正治	1 防災関連について 2 市政について 3 学校の統廃合問題について
岩田功次	1 病院建設計画の経緯とその後について 2 八幡浜市の都市計画について 3 身近な環境問題について

議員指摘のお子さんと同居などで交付条件に満たない方が対象外になるということについては、財政上の制約があり、今後事業費の増大が見込まれる中、あえて設定したものであるが、市民から意見が寄せられていることから、チケットの利用状況の調査などを行い、見直しの必要性について検討していきたいと考えている。



議員指摘のお子さんと同居などで交付条件に満たない方が対象外になるということについては、財政上の制約があり、今後事業費の増大が見込まれる中、あえて設定したものであるが、市民から意見が寄せられていることから、チケットの利用状況の調査などを行い、見直しの必要性について検討していきたいと考えている。

は、多くの人員や費用が必要と思われるが、所見を伺いたい。

答

文化財の市指定は、文化財のうち重要なものを所有者または占有者の同意を得て、申請により文化財保護審議会に諮問した後、指定することとなっている。文化財の調査研究でとりたてて予算は計上していない。

現状では、事案ごとに職員と専門委員とで現地調査を行い、その結果、意見を文化財保護審議会に諮問して、指定並びに解除を行っている。予算は、文化財保護審議会開催時の委員報酬2回分を予算化している。

高齢者外出支援事業

今後、文化財保護審議会委員の皆様と協議をしながら調査研究を進めてまいりたいと考えている。その中で、予算措置が必要であれば対応していきたい。

問

福祉タクシー券は喜ばれているが、バスは使えない。子供や孫と一緒に住んでいるから対象外になるなど不公平感などの問題があるようである。申請の制度はいいとしても、すべての高齢者を対象にするなど見直しが必要

答

高齢者外出支援事業は、広く高齢者の社会参加の促進、在宅福祉の増進に寄与することを目的に行っているものである。

対象者は、市内に住所を有する75歳以上の高齢者で、さらに65歳以上の者のみで構成している世帯に属する方、市民税の所得割非課税世帯などの条件を満たしている方を対象として、市内のタクシー、バス、船舶の利用料金の一部を1年間に1人1万3200円を上限として助成している。

敬老会行事

問

合併して6年、敬老会行事について、いまだに地域差が平然と行われている現状を見ると、大きな問題だと思いが、いかがか。

答

敬老会行事については、合併前から開催方法や内容に違いがあったことから、合併後は市の一体感をなすとともに不公平感を払拭するため行事内容の統一を図ってきた。その調整の一つが対象年齢の違いであるが、統一に当たっては八幡浜及び保内地区の老人クラブなどの協議やアンケートで意見収集を行い、また各公民館の説明会を実施した上で、5年をかけて年齢の統一を進めているところである。

保育所の統廃合

ことは72歳以上の方を対象としている。

現在、両地区で年齢差が生じているのは事実であるが、平成26年度には75歳で統一される。

問

今年度、検討委員会を設置し、適正な保育所数、配置方針を踏まえての統廃合、新築を踏まえた建物の見直し、民間活力の導入など検討されているが、その協議内容について、伺いたい。

答

「八幡浜市立保育所のあり方検討委員会」は、少子・高齢化の進行に伴い保育所の入所児童が著しく減少するとともに、保護者の雇用の変化により保育ニーズが多様化している中にあるため、今後の市立保育所の担うべき役割を認識し、保育所運営を的確に行うため設置したものである。

現在15名の委員より、保育所の適正規模及び配置等に関すること、民間活力の導入も含めた保育所の運営に関すること、またその計画期間とその方策について、協議をいただいている。

第1回目を7月4日に、2回目を9月5日に開催し、大変熱心な討議をいただいたところで

ある。8月2日には、日土東、白浜、松蔭の3カ所の保育所の現地視察を行い、松蔭保育所では給食の試食をしていただいたところである。

今年度中には協議を取りまとめていただくように計画をしている。

自然エネルギーへの転換

問 7月に高知県梶原町に行ってきたが、ここでは太陽光、風力、小水力、バイオマスなどで27%の電力を自給しているとのことであった。

当市でも、太陽光、小水力、小型風力、間伐材などを使ったバイオマスなど自然エネルギー開発に思い切って取り組んではどうか。地域のエネルギーは地域で賄っていく、そうすることで雇用を生み出し、人口もふえ、安心して暮らせるまちづくりを目指していける。まさに一石二鳥とも三鳥とも言える効果があると思うが、取り組むつもりは



ないか。

答

震災後の原子力発電に対する不安、エネルギーの安定供給や地球温暖化問題への対応、また環境関連産業の育成等、経済成長の観点からも自然エネルギーの利用拡大は重要な問題であると認識している。

当市においても、小・中学校への太陽光パネルの設置や南環境センターにおけるバイオマスエネルギーの活用など、自然エネルギー導入の取り組みを始めたところである。

しかしながら、風力、太陽光エネルギーなどを代表する自然エネルギーは、供給効率や安定性、また季節や天候に左右されるなど品質の面で実用性に問題が残っていることから、原子力発電の安全性確保を大前提とした上で、水力、火力、原子力などを含めた総合的なエネルギーのあり方を検討していく必要があると考えている。

問

その第一歩として、太陽光発電を促進するため市として助成する制度をつくってはどうか。

答

太陽光発電装置の設置に対する補助制度については、県が9月議会に補正予算を計上するとの発表を受け、当市においても、どのようにできる

かを検討したいと思っている。

八幡浜港振興ビジョン

問 振興ビジョンの中で、市場と交流施設等の現在の進捗状況について、伺いたい。

答 市場関係施設の進捗状況については、海水を浄化する清浄海水導入施設や汚水浄化施設を備えた高度衛生管理型荷さばき所と製氷貯氷冷凍冷蔵施設を23、24年度で建設し、平成25年4月の供用開始を予定している。

また、大型車約39台、小型車約200台が駐車可能な市場関係者駐車場及び沖新田埋立地内外合わせて延長約480mの道路を24年度に建設することとしている。

地域交流拠点施設、整備を予定している主な施設は、海産物直売所、産直・物産販売施設、飲食施設、観光案内まちづくり活動拠点施設、公設トイレ、緑地公園である。このうち産直・物産販売施設、飲食施設については、民設民営方式で整備を行うこととしている。

緑地公園については、既に整備が完了しており、休憩所、ボードウォーク、これに引き続いて先日芝生公園を市民に開放し



八幡浜港緑地公園

たところである。

そのほかの施設については、すべて平成25年4月オープン予定であり、今年度から来年度前半にかけて順次設計に取りかかり、来年度末までに工事を完了するとともに、運営に必要な準備作業を進めていく予定である。

問

トイレ棟のデザイン設計競技の資料を見ると、整備事業費が8000万円となっていたが、このような計画を市民は納得されるのか。過大投資をしないほしい、これが市民の声であり、再考を求めたいが、所見を伺いたい。

答

8000万円の事業費は、あくまでも目安として示したもので、お金をかけて特別にぜいたくなトイレをつくるという意図で算定したのではなく、今後、競争の中で適正な価格になるものと考えている。

設計競技においては、概算事業費の提示を必須事項として、採用作品を選定する上でも大事

な要素とする予定である。

いずれにしても、整備後の維持管理を含めた費用対効果を十分考慮した上で、事業の実施をしていきたいと思っている。

大島

問

現在、港灣埋立地には大島と八幡浜港を結ぶ新しい棧橋が完成し、待合所の新築も予定されている。また、自的努力により2便から3便へ増便されている。

大島は、新鮮な魚介類に恵まれ、人情深い心を持つ島民を思うと、小・中学校の跡地の再整備、再利用を考えるべきではないか。宿泊施設によりみえらせ、合宿場として大学生の来島に夢をさせているが、所見を伺いたい。

答

本年5月の増便により、大島での滞在時間が飛躍的に延長されたことは、利用客の利便性が大きく向上し、海水浴客も、少しであるが、戻ってきたという声も聞くなど、観光面でも大いに期待できることである。

しかし、小・中学校の再利用による宿泊施設の整備活用については、採算性や費用対効果の面から、現状では行政が実施することは難しく、まずは地元

おいで採算を考えない形でやってみたい意向があるかどうか、検討してみたいと思っている。

大島は豊富な水産資源に恵まれており、現在、離島漁業再生支援交付金を活用してアワビ等の養殖やヒジキ等の新たな養殖業に取り組んでいる。

現時点では、採算が合う段階ではないものの、全国の離島では漁業経営に成功している事例も多いことから、遊休化した施設等も活用した新たなビジネスモデルの構築の検討について、島民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っている。

集落支援員制度

問 昨年度、当市では人口減少や高齢化が深刻な集落を回り、地域活性化対策等を助言する集落支援員制度を導入されたが、その活動の状況について、伺いたい。

答 当市では、限界集落6集落のうち、日土町瀬田地区を含む日土東地区をモデル地区に選定をし、昨年10月1日から集落支援員の委嘱を行っている。

集落支援員の活動は多岐にわたるが、特徴的な事例はグリーンツーリズムによる交流人口の

増加、花づくりをテーマとした地域活性化策など、田舎だからこそ実施できるイベントを企画することにより、地域内だけでなくとどまらず、地域外から人を呼び込み、交流人口を増加させることで地域の活性化を図っている。

今年4月16日に開催された「芝さくらまつり」は、市内外から多くの方が日土東地区を訪れ、手延べうどんや桜もちなど地域の特色を生かした料理と新緑に囲まれたいやしの空間を味わっていただいた。

そういったイベントを開催するためには、話し合いや準備作業などが必要不可欠であることから、集落支援員には、地域のために多くの時間を割き、熱心に活動していただいていることに大変感謝している。

鳥獣被害の防止

問 近年では、イノシシが、保内喜須来、川之石、宮内地区で人家近くへ出没している。昨年は、ヒヨドリの被害も多い。被害を防止するには、捕獲するの一番と思うが、捕獲の資格があっても、猟友会の許可申請、猟期との関係で、法に縛られ難しいようである。もっと捕

獲しやすくなるよう、狩猟法や鳥獣保護法の見直しの要請をしていくべきではないか。



答 捕獲しやすくなるための関係法の見直し、改正に關しては、先般猟友会より同様な趣旨の要望があり、市としても早急な改正が必要であるとの意見を大日本猟友会を通じ、鳥獣捕獲緊急対策議員連盟へ提出している。今後とも、引き続き機会をとらえ、関係機関に対し、要望していきたい。

産業通りの渋滞

問 産業通りの渋滞は、当市の都市計画にとって重要な問題であり、20年以上も解決できていない。この解決方法について、所見を伺いたい。

答 産業通りの渋滞については、市としても重要な問題であると考えている。

産業通りの渋滞の解消の一つとして、祇園橋から古町方面に迂回する車の流れをスムーズに

するために、平成17年度に矢野脳神経外科付近の市道矢野町五反田線道路改良工事を行なった。

今年度、祇園橋付近の車の離合ができない区間約100メートルの拡幅工事を行い、完成すれば祇園橋から古町方面に迂回する車の流れがスムーズになり、産業通りの渋滞がある程度緩和されるものと考えている。

市立病院（産婦人科）

問 先日、産婦人科の診療体制の変更について発表があった。産科、小児科の医者不足は聞いているが、分娩数が少なくなってきたり、やむを得ず変更ということでは残念でならない。所見を伺いたい。

答 市立病院の産婦人科については、少子化に伴う分娩数の減少等により愛大附属病院からの常勤医師の派遣が受けられなくなるために、診療体制を変更することとしている。

具体的には、ことし9月から2名の常勤が1名になった。このため、9月から外来診療について、週2日は愛大附属病院からの非常勤医師派遣による診療になっている。

能であるが、来年1月からは分娩及び手術は行えなくなる。

さらに、来年4月からは残った1名の医師もいなくなり、非常勤医師による週3日程度の外来診療のみとなる。救急・入院患者については、産科は県立中央病院などの周産期母子医療センター、婦人科は愛大附属病院などと連携することにより紹介搬送することになる。

この件については、市長及び市立病院の院長が愛大附属病院を訪問し、産婦人科存続を強くお願いしたが、分娩数などの実績、あるいは道路網の整備により大病院などへの搬送が容易になったこと、さらに産婦人科においては医師不足が特に顕著であり、大学自体の医師が不足しているという理由から常勤医師の派遣は難しく、外来の応援医を派遣していただくのがやっとなという状態であるとの回答であった。



市立病院

委員会のしごき

今定例会に提出され、3常任委員会に付託された案件17件の審査が行われました。その主な内容は次のとおりです。

総務委員会

▼(一般会計)地域交流拠点施設トイレ棟デザイン設計競技関連予算について

問 トイレ棟について、デザインを全国公募するということであるが、具体的にどのような形で全国公募をするのか。

答 設計競技の周知については、今考えているのは、市のホームページ、そしてマスコミの皆さんの力も借りて、募集をしたいと思っている。その他にも、コンペ専用のホームページのサイトへの登録や建築士会にも周知して募集をしたい。また、建築雑誌にも無料で掲載していただけないかということなので、そういったものを通じて公募していきたいと考えている。

▼(一般会計)民営施設事業運営会社設立に伴う出資金について

問 市が、この民営事業者に500万円を出資したことよって、たとえば市民の方が、この交流拠点施設に出店をしたといったときに、市が出資しているのだから出店できる、出店する権利ができたと言われる方もいると思うが、その点についての見解は。

答 市として、この事業に出資するということは、この事業における公益性の担保であるとか、社会性、信用性の確保というものがある。このことよって、市民一人一人が出店できる権利ということについては、今のところは考えてはいない。

現在、民営事業者の方も出店協議会等作り、出店に関するいろいろな取り決めを、これから積み上げていきたいということを言われているので、そこで一つのルールができると思う。ただ、出店をしたいという方が、無条件に断られることがないよう、そこは市側の最低限の条件であるので、それについて

民生文教委員会

は、民営事業者と確認協議を行なっていくと考えている。

▼(一般会計)一般廃棄物収集及び運搬業務委託料について

問 一般廃棄物収集及び運搬業務を喜須来地区、川之石地区は委託し、宮内地区、磯津地区を直営とするとの説明であるが、直営か委託かの区分けの理由はどこにあるのか。

答 保内の場合は、現業職員が2名残っており、うち1名がごみ収集運搬業務に携わっており、直営部分を当面残していく。

直営か委託かの区分けについては、実際に収集している職員と作業主任との間で職員以外がやる場所はどうかというところで協議、検討し、喜須来地区と川之石地区を任すのがいいのではないかと結論となった。

▼市立八幡浜総合病院事業会計補正予算、災害派遣医療チームDMATについて

問 今後の災害医療に対応するための災害派遣医療チームDMATの予算を組まれているが、人員及び車両の配置

は、緊急時に直ぐにスタートできる状況になっているのか。

答 DMATの人員は、ドクター2人、看護師2人、事務員1人の5人が1チームになる。

今年8月に神戸の方で1週間の研修を受け、試験に合格し、資格を取得しており、体制は整っている。ただ、まだ市立病院はDMAT隊としての県の指定がなく、正式な協定も結んでないため、動きが取れない状況である。

産業建設委員会

▼八幡浜市建設残土処理場管理条例の制定について

問 田浪地区の残土処理については、過去に、農免道路の関係で、そこへ処理するということがあったと思うが、今回、この条例を制定する理由は何か。

答 今回、愛媛県が施行する高規格道路で、千丈方面のトンネル工事が、今年度中に発注される予定である。その工事において、発生する残土を受け入れる際、使用料を取る必要があるため、今回、この条例を制定する。

なお、農免道路については、負担金事業で、市が県に負担金を納めている関係で、使用料は免除となっており、その間は、条例を制定していなかった。

▼(一般会計)八幡浜地魚の学校給食導入定着事業について


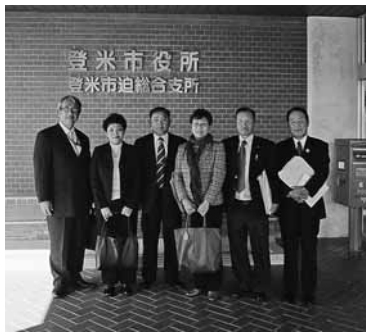
問 八幡浜の魚の消費を少しでも伸ばすという観点から、今回学校給食に導入とのことであるが、子供以外に、お年寄りにも今まで以上に魚を食べてもらいたい、元気になってもらうということも必要だと思いが、いかがか。

答 今現在、八幡浜の方に魚を食べたいと考えることが大事であると考えている。その一つとして、今回学校給食ということとなった。

これは、食育の一つとして、子供が、給食で魚を食べ、おいしかったとなれば、家でまた食べたいとなり、家庭で作ってもらうようになると思う。

せっかく豊富な魚が獲れるわけだから、それを他のところに売る前に、まず、八幡浜での消費、地産地消を進めていきたい。なお、今回の学校給食の導入以外に、介護食にはできないか、また、今、なかなか魚をさばけない方が増えていることを踏まえ、すぐに食べられるお惣菜や保存のきくものもやっていくということと、八幡浜支局が中心となって、八幡浜の水産物を幅広く利用してもらうような検討を行っている。

行政視察報告

委員会別	総務委員会	産業建設委員会
視察日	10月6日～8日	10月11日～13日
視察先	○宮城県山元町 ・東日本大震災での対応について ○岩手県葛巻町 ・クリーンエネルギーへの取り組みについて	○宮城県登米市 ・地産地消の取り組みについて ○宮城県南三陸町、塩竈市 ・被災地視察
視察風景	 山元町役場仮庁舎前	 登米市役所前

常任委員会、議会運営委員会の構成が変更しました

◎委員長 ○副委員長

《総務委員会》

◎上田 浩志	○遠藤 素子
清水 正治	宇都宮富夫
上田 竹則	住 和信
大山 政司	

《民生文教委員会》

◎新宮 康史	○石崎 久次
井上 和浩	二宮 雅男
兵頭 孝健	宮本 明裕

《産業建設委員会》

◎樋田 都	○岩田 功次
魚崎 清則	松本 昭子
中岡 庸治	萩森 良房

《議会運営委員会》

◎大山 政司	○新宮 康史
樋田 都	上田 浩志
井上 和浩	松本 昭子
宮本 明裕	

市立八幡浜総合病院建設特別委員会の結果

結論 新病院の建設場所として北浜公園は不適である。

【主な意見】

- 議員有志で、被災地を見てきたが、実際の現場は、悲惨というのを乗り越えた現実があった。一部の市民の方と話をしたが、病院と学校はできるだけ高い所に建てて欲しいという声が上がっている。こういう被害があった以上は、病院の建設については一考する必要があると考えている。
- 今後予測される東南海・南海地震を踏まえ、市民も震災以降、地震・津波には、敏感そのものである。この時期、市提案の北浜公園新築移転については、市民の理解を得ることは難しいと思われる。市民が完成を喜び、安心される場所選定も行政の責任であると考えている。今後については、慎重な取扱いを要望する。

議会改革特別委員会を設置

定数	9名
付議事件	議員定数、市長選挙との同日選挙及び議会基本条例の制定等議会改革に関する調査研究について

【提案の要旨】

市議会として、市民の負託にこたえるため、多様な市民の意見を集約し、的確に市政に反映させていかなければならない。

そのためには、政策形成機能を高め、充実した審議を行うことはもちろんのこと、積極的に情報を公開し、透明性を高めることも必要である。

また、その結果についても、広く住民に公表することも必要であると考えている。

そこで、議会の機能を充実、発展させていくための改革について調査研究するため、特別委員会を設置する必要があると考えている。

7月22日臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
報告第12号	専決処分の報告について（八幡浜市市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	原案承認
第13号	専決処分の報告について（八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	〃
議案第57号	八幡浜市立白浜小学校屋内運動場地震改築建築主体工事請負契約の締結について	原案可決
第58号	八幡浜市立白浜小学校西校舎地震補強建築主体工事請負契約の締結について	〃

8月17日臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
報告第14号	八幡浜市土地開発公社の経営状況について	報告
第15号	宇和海文化都市開発株式会社の経営状況について	報告
議案第59号	平成23年度八幡浜市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
選任第1号	常任委員会委員の選任	議長指名
互選第1号	議会運営委員会委員の互選	互選
選挙第5号	八幡浜地区施設事務組合議会議員の補欠選挙 当選人 石崎久次 新宮康史 上田浩志 井上和浩 遠藤素子 上田竹則 住和信	指名推選
第6号	南予水道企業団議会議員の補欠選挙 当選人 岩田功次 樋田都 宇都宮富夫	〃
第7号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会 議員の補欠選挙 当選人 樋田都	〃
	所管事務調査について	原案可決

9月定例会 審 議 結 果

番 号	件 名	審議結果
報告第16号	平成22年度八幡浜市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
認定第1号	平成22年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
第2号	平成22年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	〃
第3号	平成22年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	〃
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 候補者 吉田君代氏(吉田君代氏後任)	異議のない旨答申
議案第60号	八幡浜市公共下水道八幡浜浄化センターの建設(水処理再構築)工事委託に関する協定について	原案可決
第61号	八幡浜市景観条例の制定について	〃
第62号	八幡浜市建設残土処理場管理条例の制定について	〃
第63号	八幡浜市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第64号	八幡浜市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第65号	八幡浜市双岩コミュニティ公園の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
第66号～第71号	平成23年度八幡浜市一般会計補正予算(第5号)外5会計補正予算 予算額 +672,547千円	〃
議案第72号	平成23年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第1号)	〃
同意案第6号	監査委員の選任について 候補者 中岡庸治氏(住和信氏後任)	原案同意
議長発議	決算審査特別委員会の設置について	原案可決
	決算審査特別委員会委員の選任 委員長 遠藤素子 副委員長 石崎久次 委員 岩田功次 樋田都 新宮康史 上田浩志 井上和浩 清水正治 松本昭子	指名推選
議員提出議案第7号	議会改革特別委員会の設置について	原案可決
	議会改革特別委員会委員の選任 委員長 清水正治 副委員長 石崎久次 委員 樋田都 新宮康史 上田浩志 魚崎清則 中岡庸治 宮本明裕 大山政司	指名推選

議会日誌(H23.6.24~H23.9.5)

◆委員会活動状況

- 7月15日 市立八幡浜総合病院建設特別委員会開催
- 15日 原子力発電安全防災対策特別委員会開催
- 27日 原子力発電安全防災対策特別委員会開催
- 8月2日 民生文教委員会協議会開催
- 23日 総務委員会開催
- 24日 市立八幡浜総合病院建設特別委員会開催
- 30日 議会運営委員会開催
- 9月2日 民生文教委員会開催

◆庶務関係

- 6月28日 正副議長が就任挨拶のため市内各所へ訪問
- 7月1日 正副議長が「伊方原子力発電所の安全確保に関する要請書」提出のため伊方発電所へ訪問
- 2日 正副議長が「民主党地域政策会議南予ブロック陳情要請」に出席(西予市)
- 5日 議長及び産業建設副委員長が国道378号整備促進協議会定期総会に出席(伊予市)
- 11日 議長が伊方原子力発電所環境安全管理委員会「伊方原子力発電所の現地調査」に出席(伊方発電所)
- 12日 県議会議員「維新の会」来訪
- 15日 兵庫県篠山市議会が行政視察来訪
- 19日 副議長が海の日記念式典に出席(宇和島市)
- 26日 議長及び議員が愛媛県市議会議員研修会及び愛媛県市議会観光振興議員連盟総会(松山市)に出席
- 27日 山口県防府市議会が行政視察来訪
- 28日 議長が道路整備促進期成同盟会愛媛地方協議会等合同による愛媛県知事及び愛媛県議会・自由民主党愛媛県支部連合要望に出席(県庁)
- 8月3日 議長が国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会及び国道378号整備促進期成同盟会等合同による国土交通省四国地方整備局要望に出席(高松市)
- 4日 議長が自由民主党愛媛県支部連合「知事との意見交換会」に出席(大洲市)
- 8日 広島県廿日市市議会が行政視察来訪
- 15日 議長が愛媛県戦没者追悼式に出席(松山市)

議会を傍聴してみませんか

市議会では、毎年3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と必要に応じて臨時会を開きます。

市議会の本会議は、事前の申し込みの必要はなく、傍聴することができます。

傍聴席は、八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口に、受付簿を置いてありますので、氏名、住所を記入の上、傍聴してください。

会議の内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧いただけます。

編集後記

「議会だより」第26号をお届けします。「議会だより」について、ご意見をお願いします。

議会事務局

TEL (代)22-3111 内線603

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。 [八幡浜市議会](#) [検索](#)